

乳がん

乳がんは、女性にとって最も身近ながんの一つで、日本人女性の9人に1人が生涯のうちに乳がんにかかるといわれています。当院では年間300例ほどの乳がん手術を行っており、その中で、早期がんである非浸潤がん(0期)の占める割合は約15%、浸潤がんでも2cm以下でリンパ節転移のないがん(1期)をあわせると全体の約60%を占めています。コロナ禍では進行がんが増加傾向にありましたので、さらに検診受診率を上げ、早期発見を目指していかなければならないと思っています。

薬物療法が適している場合や、先に薬物療法でがんを小さくしてから手術する場合もあります。乳がんの手術には、乳房部分切除術と乳房全切除術があり、乳がんが小さければ、乳房部分切除術ができる可能性が高くなります。リンパ節転移の有無は術前検査では正確には分かりませんが、手術中に、リンパ管に入ったがん細胞が最初に到達し最も転移の可能性が高いリンパ節(センチネルリンパ節)を調べて、リンパ節郭清を行うかどうかを決めています。当院での乳房温存率は約40%で、術前検査で明らかにリンパ節転移がない場合には、センチネルリンパ節生検を行っています。

使用する薬剤の種類や使い方は、がんのタイプや投与時期、目的によって異なります。がん組織を検査することで、ホルモン療法や分子標的治療など効果が期待できる薬剤を選んで使うことが可能となっています。当院では、外来化学療法センターを併設しており、腫瘍内科医、看護師、薬剤師と主治医が協同して、抗がん剤や分子標的治療薬の安全な投与と副作用の管理を行っています。またホルモン療法では、地域の多くの医療機関と連携させていただくことにより、長期間の治療を確実に継続することができています。

乳がん診療においては、多職種での連携が欠かせません。当院には乳がん専門医をはじめ多くの専門スタッフが揃っており、乳がんの患者さんが安心して検査・



治療を受けられる体制を整えています。乳がんの早期発見のために、すでに腫瘤を自覚している方、2年以上検診を受けられていない方、遺伝的な素因により乳がんが発症しやすい体質を持っている方、検診要精査となった方などへは特に速やかな受診を呼びかけています。また診断精度のさらなる向上のために、医師・技師間でよく情報共有しながら診断技術を磨いています。がんを早く発見して治療すれば治る可能性が高くなります。今後も乳がんの正確な診断と、適切な治療を継続的に提供してまいりたいと思っています。

PROFILE

齋村 道代

令和2年度から当院乳腺外科の主任部長となり、日々外来診療や手術等に尽力しています。入院診療では、女性特有の疾患にも配慮しケアができるよう、女性病棟も活用しながら患者さんにより良い医療を提供しています。

- [専門医等] 日本乳癌学会専門医・指導医
日本外科学会専門医・指導医
日本癌治療認定医機構がん治療認定医 など
- [所属学会] 日本外科学会、日本乳癌学会、
日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会 など



北九州市立医療センター
外科 主任部長
齋村 道代
さいむら みちよ

精密検査のマンモグラフィは、基本撮影と追加撮影を行います。

放射線技術課 マンモグラフィ



マンモグラフィ検査の様子
(乳房は練習用の人形です)

①基本撮影
内外斜位方向(乳房に対して斜め)と頭尾方向(上下)の2方向で撮影し、全体像を把握します。安定した診断しやすい全体像が、検査全体の質へ繋がります。乳腺は重なりがあるため圧迫して撮影します。患者さんの状態にあわせ、適切な圧迫・ポジショニングを行っています。

②追加撮影
局所圧迫や拡大撮影で、所見の再現性や性状確認を行います。病態を最大限に描出できる向きや方法を選択します。

乳房超音波とマンモグラフィは精密検査において先導係です。検査の結果、患者さんは「地域の検診へ戻る」「経過観察」「別の画像検査」「細胞・組織検査」「治療」など次のステップに進みます。私たち放射線技師は、超音波検査へ、他検査へ、診断される先生方へ、適切なバトンが渡せるよう努めています。



マンモグラフィ・乳房超音波検査各課スタッフ

当院の乳房超音波検査は、検診施設や開業医から紹介された患者さんの精密検査を中心に行っています。腫瘍の有無はもちろん、良悪性を含めた組織型推定や、乳管内進展・リンパ節転移の評価などを行っています。また超音波は痛みや被曝が無いので、繰り返し検査が可能です。術前化学療法の治療効果判定にも役立っています。

検査はすべて女性技師が担当し、全員が日本超音波医学会認定の超音波検査士です。常に組織像を念頭においた検査を行うことで、他検査や臨床所見と組織レベルで整合性を考慮することができ、そのことが精度の高い診断へ繋がるものと考えています。私達技師はチーム医療の一員として、乳がんの診断・治療に貢献出来るよう、日々のフィードバックに加え、定期的に研修会や合同カンファレンスを行い、さらなる技術向上を目指し研鑽を積んでいます。

臨床検査技術課 乳房超音波検査



乳房超音波検査の様子

THEME

上肢リンパ浮腫について

乳がんリンパ節郭清術後にリンパ浮腫が起こり、腕が腫れたり、痛みや動かしにくくなったたりすることがあります。当院では、主治医の判断により、リンパ浮腫ケアや形成外科での治療を行っています。

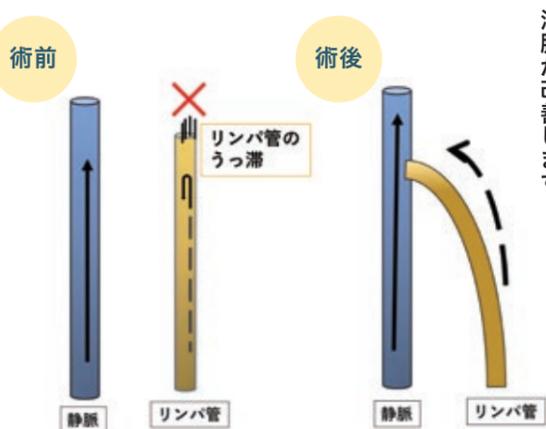
続発性上肢リンパ浮腫に対するエビデンスレベルの高い治療方法には、弾性着衣装着による圧迫療法と運動療法があります。外来では、スリーブやグローブといった弾性着衣装着指示書を作成し、日常生活時に着用してもらいます。また日常生活指導としてスキンケアや患肢挙上、生活リスク管理などのセルフ

ケア指導を行います。これら治療の組み合わせを複合的治療としています。

複合的治療を行っていても治療効果が得られない、蜂窩織炎を繰り返すなどの場合に、リンパ管細静脈吻合術を十分な患者理解を得たうえで行っています。(リンパ浮腫診療ガイドライン2018年版 推奨) 手術を行っても治療効果が得られないこともあること、手術後も引き続き弾性着衣の着用などの複合的治療を行うことがあると説明しています。

当院では、リンパ管細静脈吻合を手背部、前腕、上腕の3〜4ヶ所で行っています。今後、2泊3日の入院期間での全身麻酔手術を行っていく予定です。

リンパ管細静脈吻合術



顕微鏡下にリンパ管と静脈を吻合します。うっ滞したリンパ液を静脈に流すことで浮腫が改善します。



外科(形成外科) 医師
兵藤 伊久夫
ひょうどう いくお



写真左から／長谷川、西坂、瀨武、阿南、高島、沼口、田宮

統括部長ごあいさつ

泌尿器科

長谷川 周二

はせがわ しゅうじ

1997年に当院に赴任し、25年が経過しました。泌尿器科主任部長を経て、2019年から統括部長を務めています。がん治療に関しては、手術や抗がん剤など、様々な進歩を遂げていますが、市民の皆さまの期待に添えるよう、質の高い診療の提供を目指してまいります。

外科

阿南 敬生

あなん けいせい

薬事委員会、医の倫理委員会、院内がん登録専門部会等の任務を仰せつかっております。専門は乳がんですが、当院のすべてのがん診療で、患者さんが安心できる質の高い診療が継続的に提供できますよう努力いたします。

産婦人科

高島 健

たかしま たけし

保険診療委員会や広報委員会、省エネルギー・環境美化推進委員会を担当しています。総合産科母子医療センター長として、北九州市と近隣地域の妊産婦と新生児に対する、より安心して安全な医療を目指してまいります。

循環器内科

沼口 宏太郎

ぬまぐち こうたろう

救急災害を担当させていただきます。コロナ禍の中、感染症指定医療機関の役割を果たす一方で、地域医療支援病院として救急医療への務めも重要と考えます。救急科医師を中心に、少しでも多くの患者さんのお役に立てるよう努めてまいります。

呼吸器外科

瀨武 基陽

はまたけ もとはる

専門の呼吸器外科は、肺がん手術の安全性や根治性のさらなる向上、身体への負担軽減、術後の生活の質の向上をすすめます。コロナ禍でも院内外の方々の皆さまのお役に立てるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

内科

西坂 浩明

にしさか ひろあき

働き方改革を担当、2024年から始まる勤務医に対する新たな時間外労働規制への準備等を行っております。担当する膠原病内科は患者さんが多い診療科ですが、スタッフのため、ひいては安全な診療につなげるため努力して参ります。

病理診断科

田宮 貞史

たみや さだふみ

専門技師等の多職種が所属する診療支援部を担当しています。また、情報システム関連、がんゲノム診療関連の委員会に参加しています。診療の様々な場面で滞りなくサービスを提供できるような環境づくりを目指します。

新チーム紹介

肥満診療チーム

内分泌・代謝糖尿病内科

あだち まさひろ
足立 雅広

このたび、地域の肥満、高度肥満に対する専門的治療を行うため、肥満診療チームができました。肥満、高度肥満の病態診断や合併症の評価を行い、継続した肥満専門診療を行ってまいります。

我が国では、肥満は2300万人、BMIが35以上の高度肥満は約60万人と言われている。肥満に起因、関連する健康障害として、糖尿病、高血圧症、冠動脈疾患、脳血管障害、月経異常、変形性関節症、肥満関連腎症などがあり、高度肥満では健康障害リスクが高まるため、早期の減量が重要である。

肥満は、多数の遺伝因子（いわゆる体質）や、個々の社会環境因子が関係しています。また、我が国では、欧米と比べて、肥満治療薬の使用が限定されているため、食事療法、運動療法の継続が基本となります。そのため、医師、看護師、管理栄養士、運動療養士を中心とした、専門チームにより診療を行うことが重要となってきます。肥満、高度肥満の方に外来診療を行い、減量を得られない場合は、入院治療も検討します。減量に成功しても、リバウンドをきたすことが多いため、治療の継続が必要です。当院の肥満治療専門チームと近隣の先生との連携を行いながら、肥満診療を行っていききたいと思います。

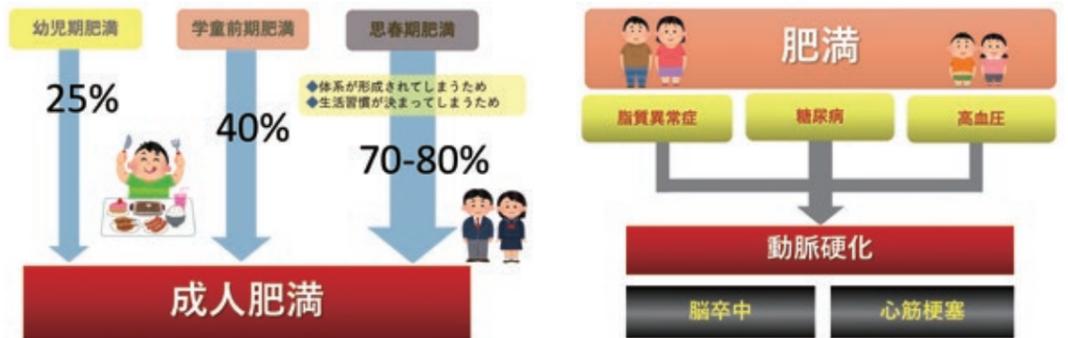
小児科

おのえ やすひろ
尾上 泰弘

子どもさんの肥満を治療しませんか？

子どもの肥満にはいくつかの特徴があります。原因はジュース・アイスクリーム・砂糖の取り過ぎが多く、それを減らすコツが分かると、多くの子どもたちは改善します。また、成長期のため標準力口リを食えることが大事なことで、ダイエットは必要ありません。また、脂肪燃焼に必要な筋肉が増えやすいので、適切なトレーニングやウォーキングは代謝を上げて脂肪がどんどん燃えていきます。今の子どもたちはYouTubeなどで人気のダンス動画を参考にすることも良いかと思えます。

肥満は治療しないままだと、容姿がコンプレックスになることや、将来の生活習慣病（糖尿病、心筋梗塞、脳梗塞など）も心配されます。子どもの肥満はどこに相談していいのかわからないという声を聞きます。北九州市立医療センター小児科では小児肥満の治療に力を入れており、検査・栄養指導・運動指導がスムーズに行えます。治療のご希望がありましたら、かかりつけの先生へご相談の上での受診をお待ちしております。





がん遺伝子 パネル検査

ヒトの身体は60兆個の細胞でできています。そして、細胞の中にある遺伝子は、ヒトの身体を作る設計図にあたり約2万個存在します。

わたしたちの正常な細胞に喫煙や飲酒などさまざまな刺激が加わると、正常な細胞を「がん細胞」へと変化させてしまいます。がん細胞は健康な人にも発生しますが、ヒトには身体を守る力（免疫機能）が備わっており、がん細胞を攻撃し消滅させます。うまく免疫機能が働かないと、がん細胞が発生して攻撃しても消滅させることができず、がん細胞は大きな塊を作りはじめます。

正常な細胞が、がん細胞へと変化するとき、細胞の中では「遺伝子の突然変異」が起きます。この遺伝子の突然変異に関連する遺伝

子を「がん遺伝子」と言います。

昨年、このがん遺伝子をもつがんの種類に関係なく一度に多量に調べられることで、効果が期待できる治療薬を見つけて検査が出来ました。これを「がん遺伝子パネル検査」と言います。手術や内視鏡検査で採取された細胞を特殊な解析装置を用い、一度に数十〜数百種類の遺伝子を調べることが可能です。2019年7月から日本でも保険承認されました。

検査対象となる患者さんが限られ、また、遺伝子異常が見つかった後も治療に結びつかないこともあります。今後の抗がん治療の歴史を塗り替える検査となることが期待されています。

北九州市立医療センターは「がんゲノム医療連携病院」に指定されています。



知って得する

病院のかかり方

かかりつけ医を持ちましょう

かかりつけ医を持ちましょう

地域医療との連携
「地域医療支援病院」である北九州市立医療センターでは、国や福岡県の政策に基づき、地域の「かかりつけ医」との役割分担を明確にして、協力しあって質の高い医療を提供できるよう努めています。

かかりつけ医について

- 1 日ごろの健康管理（予防・治療）を行っていただく、地域の身近なお医者さんです。
- 2 気になることがあったら、まず「かかりつけ医」にご相談しましょう。
- 3 状況に応じて、適切な医療機関を紹介します。

くまもりまなびのイメージ
かかりつけ医（身近なお医者） 専門外来 高度な検査 入院 がん医療センター（がん科の診療）
病状の安定（退院）

当院での治療が落ちたら、再び「かかりつけ医」に紹介させていただきます。地域の「かかりつけ医」と、「がん医療センター」で連携をとる仕組みです。＊必要に応じて、かかりつけ医の先生から医療センターの適切な診療科に紹介して頂きます。

北九州市立医療センターの役割

- 1 地域連携を通して最高レベルの医療を提供します。
- 2 専門的な診察・検査・手術などの治療を行います。
- 3 「かかりつけ医」と患者さんの診療情報を共有し、安心で開かれた医療を提供します。

医療連携（かかりつけ医・病診連携・在宅医療）は、厚生労働省が推進しています。
北九州市立医療センター

令和4年度の診療報酬（※）改定では、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を強化しながら、それぞれの医療機関はその機能に応じて、地域医療を守るための役割を果たし、患者さんは「かかりつけ医」を持つことが推奨されています。

「かかりつけ医」とは患者さんが身近で気軽に日常的な治療および健康管理を相談できるお医者さんです。万が一、専門的な検査や治療が必要となった場合も、症状に適した専門医療機関を紹介していただくことができます。地域の「かかりつけ医」と「当院医師」で連携をとりながら治療しますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

選定療養費が変わります

【初診時選定療養費】

他の医療機関からの紹介状なしで本院を初診で受診した患者さんの場合（医師が医学的に初診と判断した場合を含む）

医科 5,500 円⇒7,700 円(税込)

【再診時選定療養費】

当院から他の医療機関に対して文書による紹介を出したが、患者さんの希望により引き続き当院を受診された場合

医科 2,750 円⇒3,300 円(税込)

2022年10月1日施行



※診療報酬とは、医療機関が患者さんを診療したときに受け取る報酬のことです。患者さん3割、保険7割（年齢・所得で異なる）で負担されています。診療報酬は、国が定める、医療行為（薬剤・医療材料含む）ごとに決められた点数を基に「1点＝10円」で計算されます。診療報酬は、時代によって変動する社会や経済状況に応じて、2年ごとに改定されます。これを「診療報酬改定」と呼んでいます。

外来受診の流れ

地域の医療機関から患者さんのご紹介

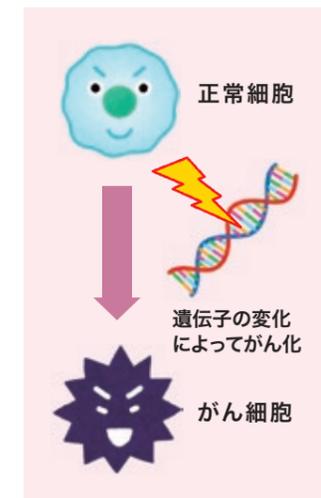
患者さんが外来受診

がん遺伝子パネル検査申込み

検査結果受領

専門家による症例検討（エキスパートパネル）

患者さんへ検査結果説明



腫瘍内科 主任部長
佐藤 栄一
さとう えいち

連携病院のご紹介

社会医療法人北九州病院 北九州小倉病院

北九州市小倉北区上富野3丁目19-1
TEL 093-511-7381

- 診療科目**
- 内科
 - 消化器内科
 - 循環器内科
 - リハビリテーション科
 - 人間ドック
 - 健康診断

受付時間

	月	火	水	木	金	土	日
8:30~11:00	●	●	●	●	●	—	—
13:00~16:00	●	●	●	●	●	—	—

※土・日・祝は終日休診となります。※新患の方は午後3時までにお越しください。



院長
吉田 智治 先生
よしだ ともはる

当院について

2003年4月に当時のNTT西日本北九州病院を譲り受け、社会医療法人北九州病院の8番目の病院としてスタートし、現在では入院病床180床、人間ドックご利用の皆さまの宿泊用として完全個室17床を持つ病院として、地域医療・福祉の発展、健康管理・健康増進に努めています。小倉北区の都心部と門司地区の中間に位置する私どもの病院は、都心部へ向かうビジネスマンの方はもとより、近隣の皆さまの役に立てることを目標に力を注いでいます。

地域の方、患者さんへのメッセージ

病棟からは、関門海峡や響灘が一望できる絶景な場所であり、内科、リハビリテーション科を中心に、健康診断や人間ドックにも力を注いでおり、2021年4月には人間ドック健診施設機能評価Ver.4更新認定を受けています。また、長年に渡り患者の症状にあわせた栄養サポートの実践と推進に尽力していることを認められ、「令和3年度栄養関係功労者福岡県知事表彰(特定給食施設部門)」を授与されました。今後も地域の急性期医療機関や医療介護施設、診療所などと緊密に連携し、住民の皆様が安全・安心に生活できるよう、全職員が一丸となって良質な医療・看護・介護の提供を目指してまいります。まだまだコロナの影響が続いており、当院でも感染対策には細心の注意を払っています。感染から守るために日々努力をしています。

患者支援センターだより

患者支援センター入退院支援室では入院決定時から早期に患者さんやご家族と関わり、退院に向けて安心して療養生活が送れるよう支援しています。

患者支援センターのメンバーは、医師、歯科医師、看護師、専任の薬剤師、社会福祉士、管理栄養士、リハビリテ

ーションスタッフ、事務職員など多職種で構成しています。多方面から患者さんの病状を評価し、退院後も安心して静養できるよう支援したいと思います。

2022年2月に相談ブースを増設し、一人でも多くの患者さんに関われる体制づくりに取り組んでいます。

業務内容

- 入院説明
- 持参薬管理
- 術前検査説明
- 栄養管理
- リハビリ相談
- 周術期口腔機能管理 など



【お問合せ先】 TEL 093-541-1831 (代表) 内線 : 2187



登録医のご紹介



たじり消化器・肝臓内科クリニック

福岡県京都郡苅田町神田町三丁目3番25号
TEL 093-436-0138

診療科目

- 消化器内科
- 内科
- 整形外科
- 放射線科
- リハビリテーション科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
8:30~13:00	●	●*	●	●*	●	●*	—
14:00~17:30	●	●	●	●	●	—	—

※胃カメラ・大腸カメラ・大腸ポリプ切除(日帰り可)



当院について

「川上胃腸科医院」、「たじり整形外科・胃腸科医院」を経て私で3代目となるクリニックです。内科、消化器内視鏡診療をはじめ、肝臓専門医として昨今の生活習慣病、肝臓病を主軸とした専門外来のニーズに応えていきたいと考えています。

地域の方、患者さんへのメッセージ

内科・消化器科・肝臓病外来をはじめ、あらゆるニーズに応えることが出来るように日々努力してまいります。『気軽に相談できる先生を見つきたい』そんな願いに沿うような医療の提供を目指しています。



院長 田尻 博敬 先生
たじり ひろたか

唐原内科クリニック

福岡県築上郡吉富町大字広津295番地5
TEL 0979-22-0782

診療科目

- 胃腸内科
- 内視鏡内科
- 消化器内科
- 内科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~18:00	●	●	●	—	●	—	—
9:00~13:00	—	—	—	●	—	●	—



当院について

築上郡吉富町に、先代である父が開院した病院を2011年に私が継承、翌2012年に今の地へ移転いたしました。内科全般の診療はもちろん、培ってきた内視鏡の技術を生かし、おなかの中からも患者さんの健康を支える、そんな病院を目指しております。

地域の方、患者さんへのメッセージ

昭和50年代に父がここ吉富町に開院してから40年以上が経ちました。偏に皆様の支えがあったのことでと思います。これからも患者さんに寄り添う診療を motto に地域に根付いた、親しみやすい病院として皆さまの力になればと思います。



院長 唐原 健 先生
とうばる たけし